

国際会議から ESARS 2012(航空・鉄道・船舶推進用電気システム国際会議)

本会議は、鉄道・航空機・船舶・自動車の電気システムを対象とした国際会議で、31カ国から参加者が集まりました。128件の発表があり、分野別の内訳では鉄道45件、航空機28件、船舶18件、自動車37件と、鉄道分野が最も多くなりました。筆者は、ディーゼルハイブリッドシステムの環境性能評価の発表を行いました。

鉄道・航空機・船舶・自動車は、技術的に共通する部分もあるものの、それぞれの分野の特徴や制約から異なる技術も多く、活発な議論が行われていました。特に、Keynote Speechでは、他分野の者にもわかりやすい発表が行われており、筆者の発表にも関わる省エネ技術を初めとして良い勉強になりました。

また、開催地のボローニャはイタリアの鉄道の要所でも



小川知行
車両制御技術研究部
動力システム研究室
副主任研究員

あり、ローマ・ミラノ・ヴェネチアからの路線が交わる主要駅となっています。民間事業者であるNTV社による高速鉄道のイタロも2012年の4月から運行されています。アルストム社製の永久磁石同期電動機を採用した動力分散方式の高速鉄道車両のAGVを採用しており、技術的にも特徴のある車両のため、出席者の間でも注目されていました。

正式名称：International Conference on
ELECTRICAL SYSTEMS FOR
AIRCRAFT, RAILWAY, AND
SHIP PROPULSION

開催国：イタリア(ボローニャ)

期間：2012/10/16-18

主催：ESARS Committees

協賛：IEEE

開催頻度：1回/2年



NTV社イタロ



会場風景